

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 26年10月 第51号

自分の能力を知り、認めてからの成長

事務局長 浅野 尚美

私たちが生きている社会は、必ず人との繋がりがあり、何らかの組織に属しています。この私も「光陽福祉会」という組織の中で生きています。この組織のコンプライアンスは、それぞれの責任と役割、法人としての責任と役割があります。ピラミッドのように組織化されているので上司と部下の関係です。部下が上司に相談なく個々の意見や考えで行動していたらどうでしょう？報連相は当たり前です。

私が今の立場を頂いてから今日まで努力をしてきた事があります。「部下に使われる！」です。上司として機能(知識、経験)を持ち、部下に活用してもらえるようになることです。部下だけでなく、上司(会長殿)にも活用されることです。困った時の局長となる様に…

菊池会長と共に動く時、話を振られて「ん!?!」となっていてはいけないので、下調べはよくしました。会長とは、ほとんど打ち合わせはしません。移動している場合は、到着5分前ぐらい。今後の方向性は、雑談の中で会長が話す事を聞きながら、「こう考えとるんやろうな」で理解し勉強をして、職員に伝えます。そして職員もそれを聞いて、会長がいつ言ってもいいように準備しています(笑)

さて、私が意識して身に付けようとしてきた上司の8機能をご紹介します。

1、プロフェッショナル・マスター機能

ノウハウやスキル、知識や知恵を伝授できる師匠

2、サーチエンジン機能

不明な点や疑問点などを尋ねられれば、さっと答えが返ってくる便利な知恵袋

3、ヒューマンアセスメント機能

部下の仕事の成果や能力を把握し、部下の能力開発を支援する応援団長



4、キャリアカウンセリング機能

将来の進路や個人的な悩みの相談相手

5、トラブルシューティング機能

トラブルを手際よく処理し、クレーム相手に謝罪できる防波堤

6、アプルーバル機能

やってみようとゴーサインをだせるチームリーダー

7、ネットワーカー機能

社内外を問わず、業務に必要な人脈を紹介できるハブ的な存在

8、ピンチヒッター機能

いざという時、困った時に仕事を手助けできる協力者

私の部下は、みんな上手に私を活用してくれます(笑)

「局長がいてくれたら～」 「局長だと大丈夫～」等々。

もし、会社の管理職が、

「部下に責任押し付け機能」「自分の役職の保身機能」「部下を放置プレイ機能」など不必要な機能ばかり使っていたら完全に赤信号です。

部下を育てるのが役割の管理職にとって使い倒されるのは、ある意味で本望なのでは？

「どうせ聞いてもわからんやろうし」 どうせどうせ… よりもいい。

「上司は部下に使い倒されてナンボの世界」上手に上司の8機能を使って成長してくれた部下は、きっと今度は自分も8機能を兼ね備え、部下に活用してもらうことを望むでしょう。このプラスの循環こそが、一体感を持って会社が永続していく必要不可欠な要素になります。

組織の中では立場があり、その立場に努力しなくとも、甘んじていても役職。

でも、部下は本当によく見ている。

これってよくよく考えると、上司と部下にとどまらず、人に信頼されて頼られる人の特徴でないでしょうか？ 「頼りになる人」と思っている人はきっとこの機能が付いているのでは？

必要とされてナンボ。生き生きと張り合いを持って生活できることは、自分の機能を1つでも増やす事の努力。皆さんも1度、自分機能を再確認されてみてはどうでしょうか？



きっぷサポートはぐくみ

カレーを作ろう！

大島 由美子

今年の夏は曇りや雨の日が多い夏となりましたね。9月に入ると一気に朝晩の涼しさ、風の涼しさを感じるようになり、季節もすっかり“秋”になってきました。夏休みの間は行事ごとが多く、楽しく過ごした一方で少々慌ただしい日々となりました。夏に体を使ってたくさん遊んだ分、秋は落ち着いて過ごす環境・雰囲気作りを心掛けていきたいなと思っています。

子ども達が集中しやすいもの＝興味関心を抱くもの・・・という事で9月の療育の題材は「カレーライス」。さすがカレーは魔法のスパイス。元気一杯があふれ出てしまいすぎる子ども達を、その魅力でギュッと一つにまとめてくれました。

みんなで共同作業



【カレーライスを作ろう！実物編】

①野菜を知ろう！感じよう！

人参・玉ねぎ・ジャガイモを目で見て、手で触って匂いを嗅いで、確かめたよ。（いつの間にか人参の先っぽがかじられていたり…玉ねぎがはげていたり… いろいろなところで確かめてみたんだね（^-^））



1人でも挑戦！小さく料理人さんです

②野菜あてクイズ

箱の中身は何だろう？ゴツゴツ、ツルツル、まるい、長細い…手で探って触って、見えない事でより感触を知って、イメージと繋げてみたよ。



なにかな？なにかな？

③野菜パズル

人参・玉ねぎ・ジャガイモをカット！人参ってどんな形だったかな？どう合わせると元の形になるかな？ぴったんこ！とくっつけて本来の野菜の形を再現。形が出来上がった時の子どもたちの表情…なんだか得意げです（^-^♪）



「ぴったんこ！」

④カレーを作って食べたよ

①～③で使った野菜を細かく切って煮込んで、カレー作り。ルーを入れてかき混ぜるところを子ども達に手伝ってもらってカレーの出来上がり！！みんなで食べたカレーライス…おいしかったね♡

【カレーを作ろう！遊び編】

①まずは具材の切り込み。指先を使う事、両手を使う事、ハサミを使う練習を意識して下準備もバッチリ！

②仲間と順番こ・手順（カレーライスの歌の手順）に合わせてみんなで一つのオリジナルの「はぐくみカレー」を作りました。

いつも心掛けている事“楽しく学ぶ”事。テンションが上がり過ぎてしまう事もあるけれど、これからも楽しく学ぶことのできるテーマ・題材を提供していきたいなと思います。

来月のテーマは「ピザ」です。またまた食べ物になっちゃいましたが…楽しみです（^-^）



にんじん切って…



小さく切って食べやすくするんだ



サポートセンターつぼみ



調理

松原万琴

小学部では、夏休み前からうどん作りに取り組んできました。粉・水などを、量る・混ぜる・こねる・のばす・切る。いろいろな工程があります。しっかり計量カップで量れる子、量れない子、それぞれにあった計測をします。カップに目立つ印をつけ、そこで止める。はかりの表示される側に同じ数を書いたカードを置き、マッチングする等、個々の子ども達に合った方法で取り組みます。

水と粉を一緒にして混ぜる時は、べたべた感が嫌で、手を出せない子、出してすぐ「洗う！」と言う子に「もう少しやってみよう」「あの時計の針が下に行くまで頑張る」と声かけをしながら我慢していくと、粘土のようにまとまってきます。

あとは粘土遊びのような感覚で、ドンドン、ペタペタと音を立てて少し遊びます。こねた生地を親指を残す4本の指で手前に引き返し、手首の付け根を使って力を入れます。指の力、動き、体重をかけるバランス、リズム、意外に難しい作業でした。

しかし子供たちは粘土遊びとの共通点もあり、何より食べられる楽しみが大きく、とても嬉しそうな笑顔になります。なかなか話が聞けない子も、調理の時はいつもより集中力が高くなります。やはり食欲とはすごいものですね。

繰り返し体験することで、流れをすっかり身につけて、最後に切ったうどんを満足気に持って見せてくれた子もいましたが、まだまだ五感刺激が必要なので、9月からは、みたらしだんごや白玉パフェ作りをしています。こちらは押し付けるのではなく、両方の手のひらを、やや丸め合わせながら、形を作りだんごにします。丁度良い大きさ、形を意識して作れるよう、子ども達のやる気満々の笑顔と共に、頑張っていきたいです。



第2光陽

つぼみで身につけたい力

村瀬 真理

つぼみでは、様々な活動があります。例えば、調理(ピザ作り)。
ピザ作りでのポイントは

- ① 手のひらを使い、生地を伸ばすことができるか
- ② 具材の好き嫌いはあるか
- ③ 具材を生地にまんべんなくのせられるか

等ですが、それ以上に目的があります。

調理で身につけたい力は、身支度・手洗い・待つ姿勢作り(順番を守る・並ぶ・待つ)です。

1グループさんは、食べる事が大好き♡ピザを作る事で興味・意欲を引き出します。いつもは部屋の隅に座っているA君も「ピザを作るからエプロン着ようね」と声を掛けると、職員の方へ来てくれます。三角巾もマスクも苦手だけど「ピザを作りたい。食べたい」という思いから、ちょっと苦手な事を我慢できたり、いつもは、指先しか洗わないけど、調理の時は、自ら石鹸を使って洗おうとしたり、子ども達の様子は変わります。



2グループさんも食べる事が大好き♡調理の日は、なんだかみんなソワソワしています。

「今日ピザ作るんやと」

「ほんとう？」

「おれ2枚食べたい」など、友達同士の会話が弾みます。

さて、身支度開始！

エプロン・三角巾・マスクの着脱を職員は見守ります。

エプロンは…ほぼ 身につける事OK。後ろボタンレベル1、前リボンレベル2、後ろリボンレベル3と難易度は上がります。

「せんせい。自分でできたよ」と報告してくれる子が増えてきました。本人の力で着脱できるエプロンを保護者の方が用意してくださっているからですね。いつもご協力ありがとうございます。

どうしても自分で着脱出来ない時は…？

「おねがいします」と職員に助けを求められることも、大切なことです。

さて、手洗い。2階に洗面所は1つ。友達の後ろに並び、順番を守ります。

夏から始まった書道教室でも

①文字を書く②先生の所へもっていき、添削してもらう

という流れになっていますが、列には並ばず、いきなり先生の所へ

行ってしまふ子もいます。職員に声をかけられ、列に並びますが、

「早くみてほしい」という気持ちが強く、順番を守れないのですよね。

『順番を守る・並ぶ・待つ』ということは、社会に出るうえでとても大切な

ことです。バス停で、駅で、飲食店で、買い物などなど、並ぶ機会は

多くあります。

調理、書道教室、外出と活動は違っても、目的は同じです。

つぼみのさまざまな活動を通して、社会で生きていく為に、必要な力を身につけましょう。

ちょっぴり苦手な事も、職員と一緒に頑張りましょうね。



いつも、つぼみの活動に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

